# 令和８年度全国学力・学習状況調査の結果分析と本校の取組について

**本校の目指すこども像**

主体　自分から行動できる子ども
協働　仲間を思いやり、ともに取り組む子ども　追究　自信をもって、挑戦し続ける子ども

今年も、６年生児童を対象に全国学力・学習状況調査（国語・算数・児童質問紙）が実施されました。

この調査は、子どもたちの学力の一部を測るものであり、学力のすべてを表すものではありません。しかし、その結果からは、子どもたち一人ひとりの学習状況や成長の様子を読み取ることができます。

学校では、調査結果を真摯に受け止め、その分析を今後の教育活動に生かしながら、子どもたち一人ひとりの力をさらに伸ばしていきたいと考えています。

「目指す子ども像」に関連する項目から

数値（%）…
肯定的な回答をした子どもの割合

**主体**

- 自分が努力すべきことを決めて取り組む【本校 86.5 全国 77.3】
- 自分で学び方を考え、工夫することができる【本校 86.5 全国 79.4】

**協働**

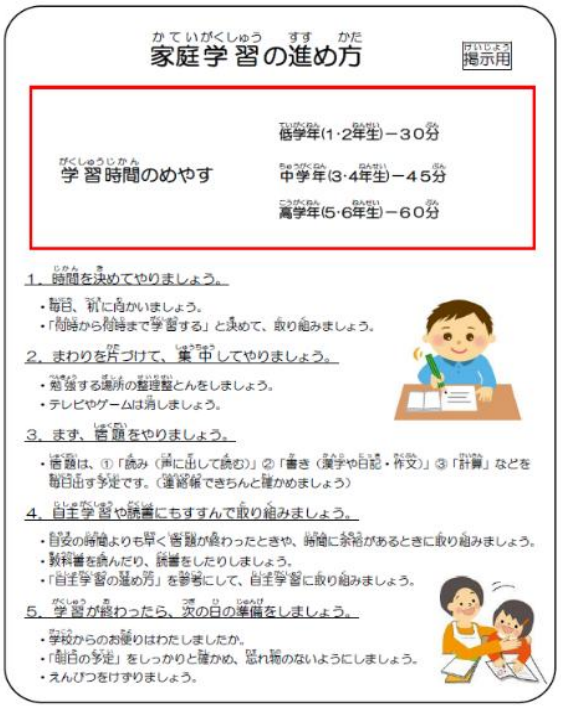
- 人が困っている時は進んで助ける【本校 94.6 全国 92.7】
- 人と協力しながら課題解決に取り組む【本校 97.3 全国 91.4】

**追究**

- 先生は、分かるまで教えてくれていると思う【本校 94.6 全国 87.3】
- 話し合いで自分の考えを深める【本校 89.2 全国 85.7】

**ウェルビーイングでみんなが幸せになる学校に！**

「普段の生活に幸せを感じる（本校 97.3 全校 92.5）」「人の役に立つ人間になりたいと思う（本校 97.3 全国 95.8）」と、子どもたちが日常生活に満足し、人の役に立ちたいと考えていることがわかりました。その要因として、「友達関係に満足している（本校 91.9 全国 91.1）」「人と違う意見を言っても否定されない（本校 78.4 全国 69.6）」等が関係していると推測できます。今後も、子どもたちの健やかな成長に向けて、周囲の大人が子どもたちを温かく見守り、支えてくださいますようお願いいたします。


家庭学習の進め方

掲示用

学習時間のめやす

低学年(1・2年生)－30分
中学年(3・4年生)－45分
高学年(5・6年生)－60分

1．時間を決めてやりましょう。
・毎日、机に向かいましょう。
・「何時から何時まで学習する」と決めて、取り組みましょう。

2．まわりを片づけて、集中してやりましょう。
・勉強する場所の整理整とんをしましょう。
・テレビやゲームは消しましょう。

3．まず、宿題をやりましょう。
・宿題は、①「読み（声に出して読む）」②「書き（漢字や日記・作文）」③「計算」などを毎日出す予定です。（連絡帳できちんと確かめましょう）

4．自主学習や読書にもすすんで取り組みましょう。
・自分の時間よりも早く宿題が終わったときや、時間に余裕があるときに取り組みましょう。
・教科書を読んだり、読書をしたりしましょう。
・「自主学習の進め方」を参考にして、自主学習に取り組みましょう。

5．学習が終わったら、次の日の準備をしましょう。
・学校からのお便りはわたしましたか。
・「明日の予定」をしっかりと確かめ、忘れ物のないようにしましょう。
・えんぴつをけずりましょう。

**学力の伸びにつながる家庭学習の時間**

本校児童の平日の家庭学習時間（60 分以上）は、全国に比べて少ない傾向にあります（本校 43.2 全国 49.9）。「家庭学習の手引き」では、学習時間の目安とともに、お家の方の関わり方を次のようにお願いしています。

〈低学年〉いっしょにして、やる気をおこす
〈中学年〉認めて、ほめて、自信をつける
〈高学年〉見守って、伸ばす

子どもの学ぶ姿勢は、周囲の大人の関わりの中で育まれると言われています。ご家庭でも、お子さんが学習に取り組もうとする気持ちや日々の頑張りを認め、温かい言葉をかけていただければと思います。その積み重ねが、子どものやる気や自信、主体性を育み、自ら学び続けようとする力につながっていきます。ぜひ温かい見守りをお願いします。

※「家庭学習の手引き」は学校 HP にも掲載しています。

# 教科に関する調査【国語】

## 【国語に関する調査結果（平均正答率）】

| | |
|---|---|
| 本校 | ６６．０ |
| 全国 | ６０．９ |
| 三重県 | ６１．０　（%） |

本校児童の国語の平均正答率は、全国、三重県の平均を上回る結果となりました。

特に「思考力、判断力、表現力等」のうち「読むこと」は国・県平均を大きく上回りました。また、無回答率は低く、粘り強く学習に取り組もうとする姿勢がみられます。

## 【課題がみられた調査問題】

国語2四　引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題

【花山さんの文章の続き】
4　すずしく過ごせる衣服の色は何色か
「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そででもすずしく過ごすことができそうだ。
　また、［　　］。
5　終わりに
　これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえぎるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。

【集めた情報】

| 本の題名 | 本文の一部 |
|---|---|
| 色の効果 | 青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。 |
| 生活と太陽 | 白は熱や光を反しゃする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。 |
| 夏のくらし方 | 白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。 |

四　花山さんは、【集めた情報】をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを【花山さんの文章の続き】に書いています。あなたが花山さんなら、［　　］に入る内容を、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

　暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう
1　はじめに
　夏休みに外出したとき、長そでの服を着ている人を見かけた。暑いときは、そでがみじかい方がすずしいのではないか。なぜ、長そでの服を着ているのかふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。
2　どうして暑い日に長そでの服を着るのか
　「生活と太陽」という本には、「日差しの強いときにはだを出して日焼けをすると、はだがひりひりしたり、水分が失われたりする。」と書かれている。また、「世界の衣服」という本には、「暑い国の中には、はだのほとんどを衣服でおおっている人たちがいる。皮ふに直しゃ日光を当てない方がすずしいのである。」と書かれている。強い日差しが照りつけるえん天下では、はだを出しすぎないように着る物をくふうすることができそうだ。
　では、すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのだろうか。
3　すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのか
　「熱中しょうかん境保健マニュアル２０２２」には、暑さをさける衣服のくふうとして、「ゆったりした衣服にする。」、「えり元をゆるめて通気する。」と書かれている。また、「夏のくらし方」という本には、「服とはだの間に風が通るようにえり元やすそをゆったりさせると、すずしくなります。」と書かれている。〈図〉のように衣服の形や着方を意識してくふうすることで、長そでの服でもすずしく快適に過ごすことができそうだ。
　では、衣服の形や着方以外に、快適に過ごすくふうはあるのだろうか。

文2　花山さんは、「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について調べ、文章を書いています。

〈条件〉
○　【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、ぬき出して書くこと。
○　ぬき出した本の題名と本文の一部の内容はかぎかっこ（「　　」）でくくること。
○　ぬき出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書くこと。
○　百四十字以内にまとめて書くこと。

## 【国語の調査結果から】

本校児童には、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えや経験と結びつけてまとめて書く力がついていることがわかりました。

一方、国語2四の調査結果にみられたように、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力に課題がみられました。

【これからの学習について】

引用した部分と自分の考えとの関係を明確にして書く活動を多く取り入れていきます。また、国語の授業だけにとどまらず、あらゆる学習場面で、複数の資料を読んだり、友達と話し合ったりしながら、目的に応じて、必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりし、分かったことなどをまとめ表現する学習活動に取り組んでいきます。

## 教科に関する調査【算数】

【算数に関する調査結果（平均正答率）】

| | |
|---|---|
| 本校 | ５７．０ |
| 全国 | ５６．４ |
| 三重県 | ５５．０　（%） |

本校児童の算数の平均正答率は、全国、三重県の平均を上回る結果となりました。

特に「数と計算」と「測定」は国・県平均を大きく上回りました。また、無回答率は低く、粘り強く学習に取り組もうとする姿勢がみられます。

【課題がみられた調査問題】

算数4（３）　二次元の表から、条件に合う数を読み取る問題

(3)　さくらさんたちは、前半と後半のあやとりやかるたに参加する１年生の人数を下の表にまとめました。

**前半と後半の遊びごとの人数**　（人）

| | | 後半 | | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| | | あやとり | かるた | |
| 前半 | あやとり | 4 | 9 | 13 |
| | かるた | 8 | 7 | 15 |
| 合計 | | 12 | 16 | 28 |

さくらさんたちは、あやとりに参加する１年生にひもをわたします。

わたすひもの本数を知るために、表からあやとりに参加する人数を調べると、次のことがわかります。

前半にあやとりに参加する人数は［㋐］人です。
前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数は［㋑］人です。

上の㋐、㋑に入る数を、それぞれ書きましょう。

【算数の調査結果から】

本校児童には、数を四捨五入して、概数で表す力がついていることがわかりました。

一方、算数4（３）の調査結果にみられるように、二次元の表から、条件に合う数を読み取る力に課題がみられました。

【これからの学習について】

目的に応じてグラフや表を読み取り、活用する活動を繰り返し学習させていきます。また、言葉や数、式、図、表、グラフを用いて筋道を立てて説明したり論理的に考えたりして、自ら納得したり他者を説得したりできるような学習を進めていきます。